

第29期

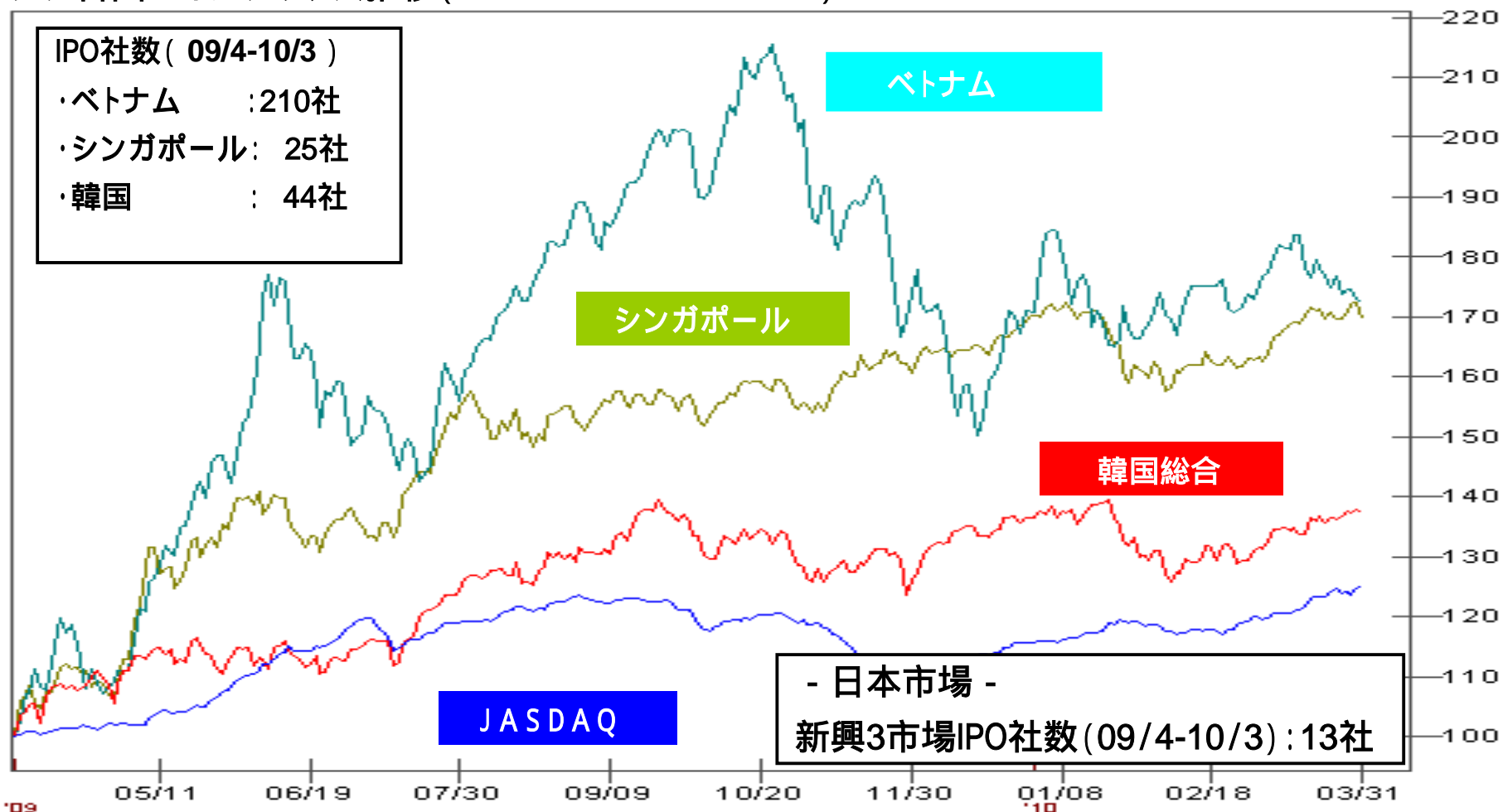
定時株主総会

日本アジア投資株式会社

1. 当事業年度の事業の状況

第29期の外部環境

アジア各国のインデックス推移 (2009/4/1 ~ 2010/3/31)



1. 当事業年度の事業の状況

第29期の施策

イ．ポートフォリオ管理を中心としたリスク管理の一層の強化

ロ．適切な投資回収の促進と徹底的なコストカットによる収支
バランスの改善

ハ．金融債務の圧縮

ニ．顧客基盤の強化と投資先企業のValue Add活動の推進

1. 当事業年度の事業の状況

【損益の状況】 連結ベース

単位：百万円

	第28期 (平成21年3月期)	第29期 (平成22年3月期) (当連結会計年度)
営業収益	9,454	8,474
営業損失	31,382	11,710
経常損失	32,696	12,679
当期純損失	34,899	10,889

2.業務の部門別概況 投資部門(投資業務)

【投資実行】

投資実行額4,002百万円(自己勘定 + ファンド勘定)

- VC投資2,285百万円
- VC投資以外のプライベートエクイティ投資1,716百万円

【VC投資 地域別投資実行高】

日本:1,289百万円 (第28期4,302百万円)

北東アジア:605百万円(第28期3,914百万円)

東南アジア:-百万円(第28期1,309百万円)

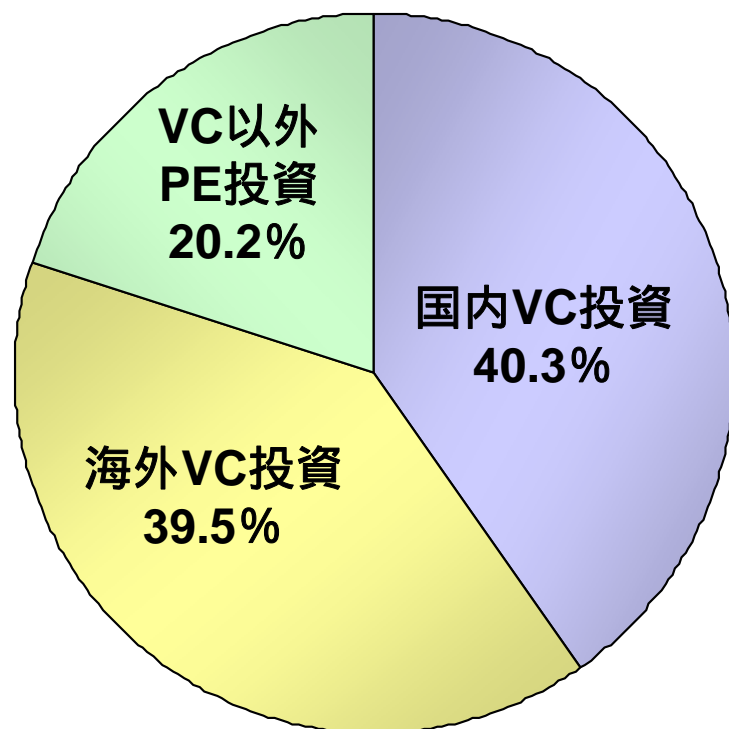
アメリカ:240百万円(第28期902百万円)

当社グループが運営する会社型ファンドへの出資分、及び、当社グループが運営に関わらない当社以外の第三者が運営するファンドへの出資分は含まない。

2.業務の部門別概況 投資部門(投資業務)

【投資残高】 第29期末

単位：百万円

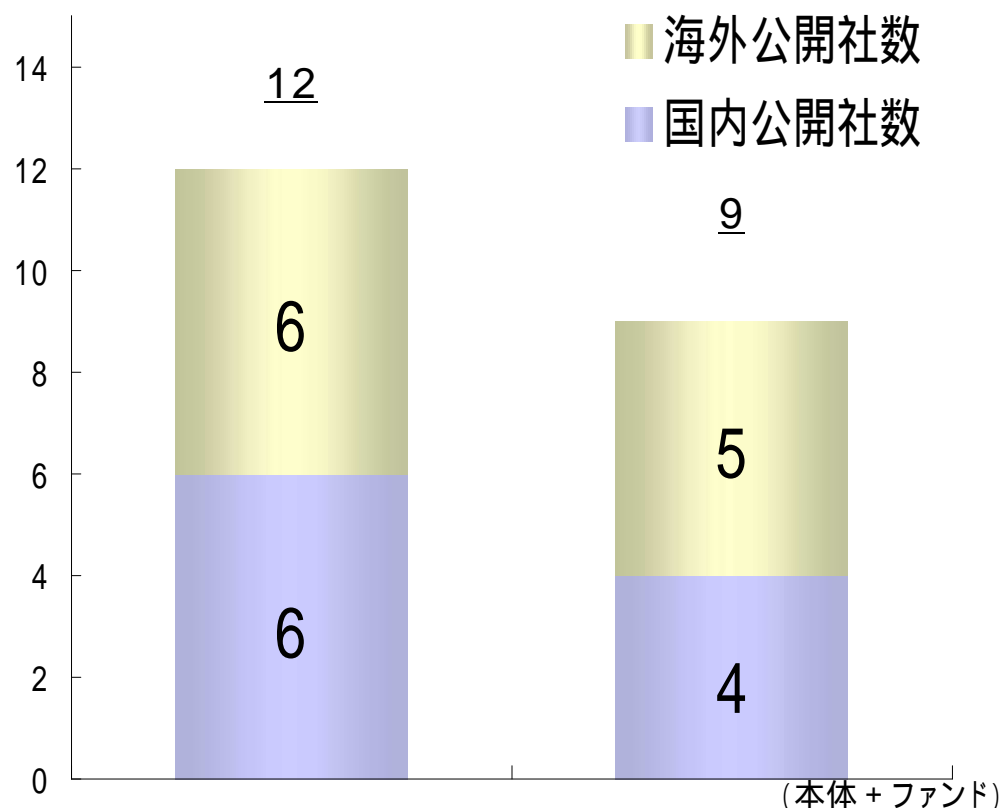


総額63,076百万円

当社グループが運営する会社型ファンドへの出資分、及び、当社グループが運営に関与しない当社以外の第三者が運営するファンドへの出資分は含まない。
VC投資以外のPE投資業務：パイアウト投資、事業再生投資、セカンダリー投資等。

【株式上場会社数(国内 + 海外)】

(社数)



株式上場会社数は、第28期には、第28期は3社、第29期は4社の株式交換等による上場株式取得分を含む。

2.業務の部門別概況 投資部門(投資業務)

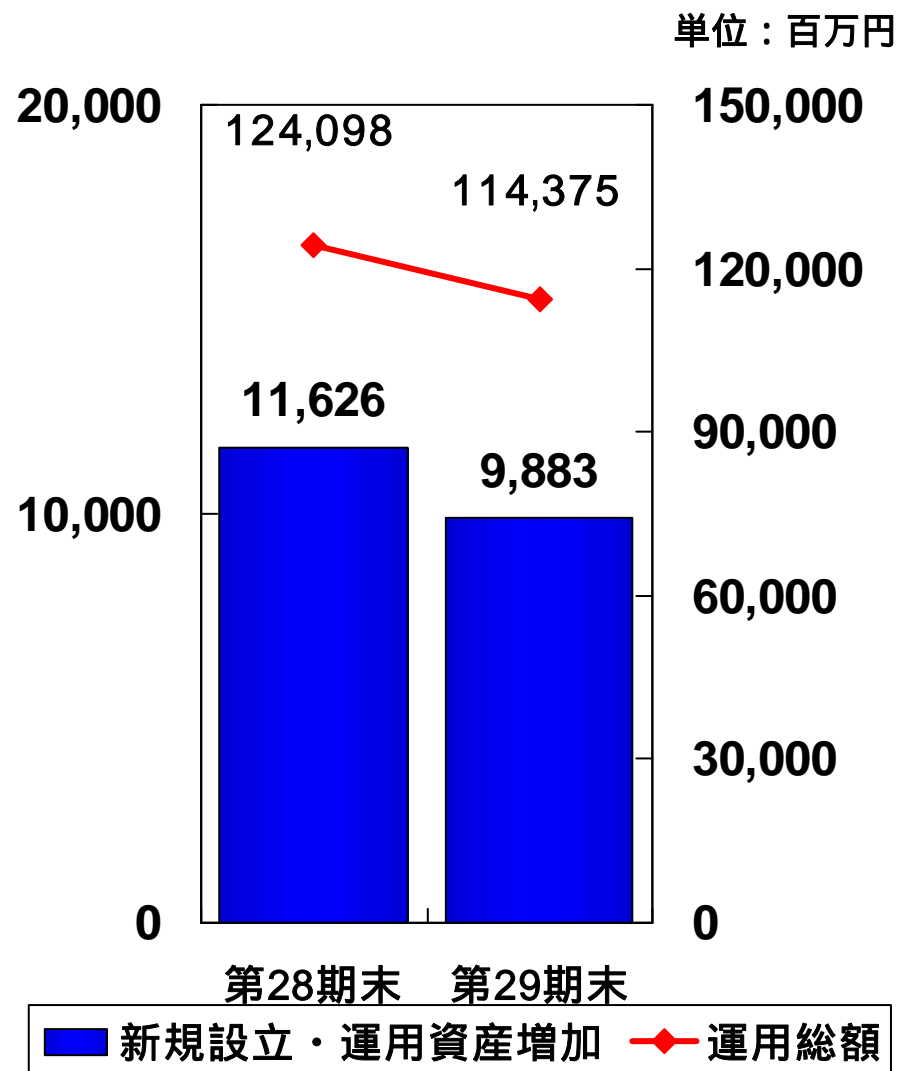
【営業投資有価証券の投資損益と引当金・評価損】

単位：百万円

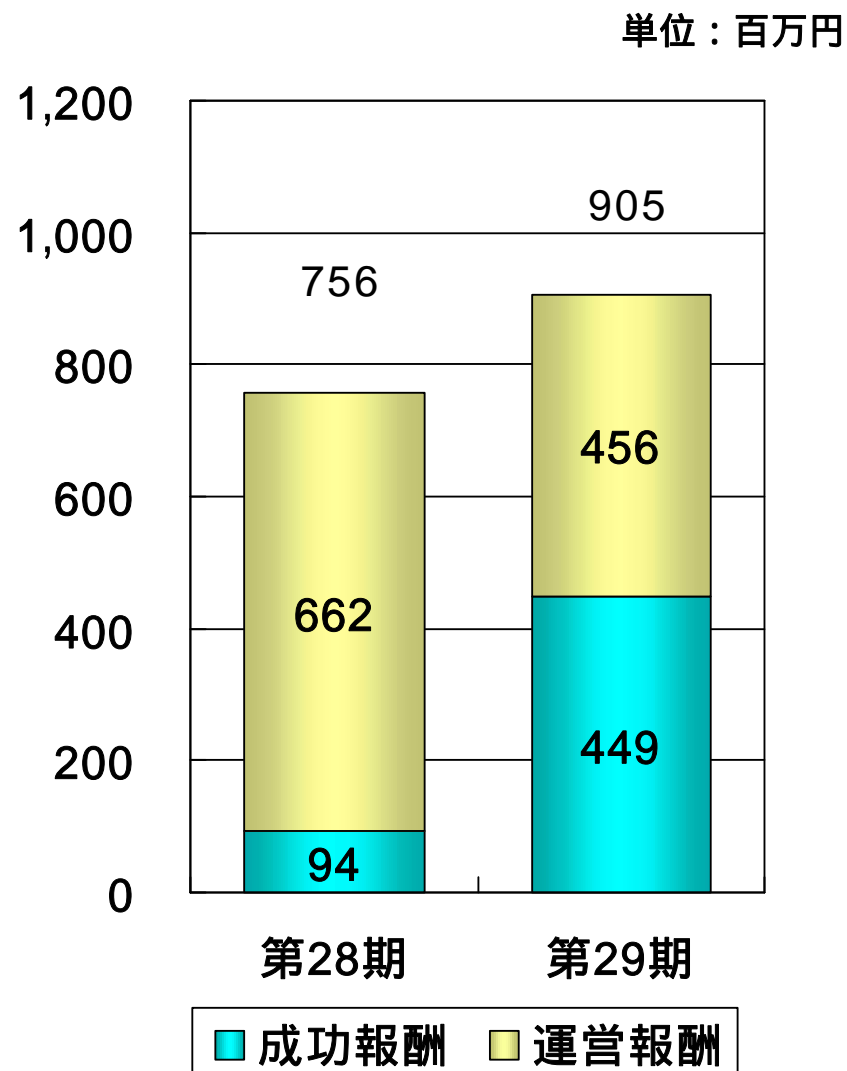
	第28期 (平成21年3月期)	第29期 (平成22年3月期) (当連結会計年度)
売却高(A)	7,202	6,511
売却原価(B)	6,782	6,432
実現キャピタルゲイン (A)-(B)	420	79
評価損(C)	16,178	3,390
引当金(D)	9,712	6,193
投資損失 (A)-(B)-(C)-(D)	25,470	9,504

2.業務の部門別概況 投資部門(ファンド業務)

【ファンド設立・運用状況】



【ファンドからの報酬額の状況】



2.業務の部門別概況 金融部門(融資業務)

【営業貸付金残高】

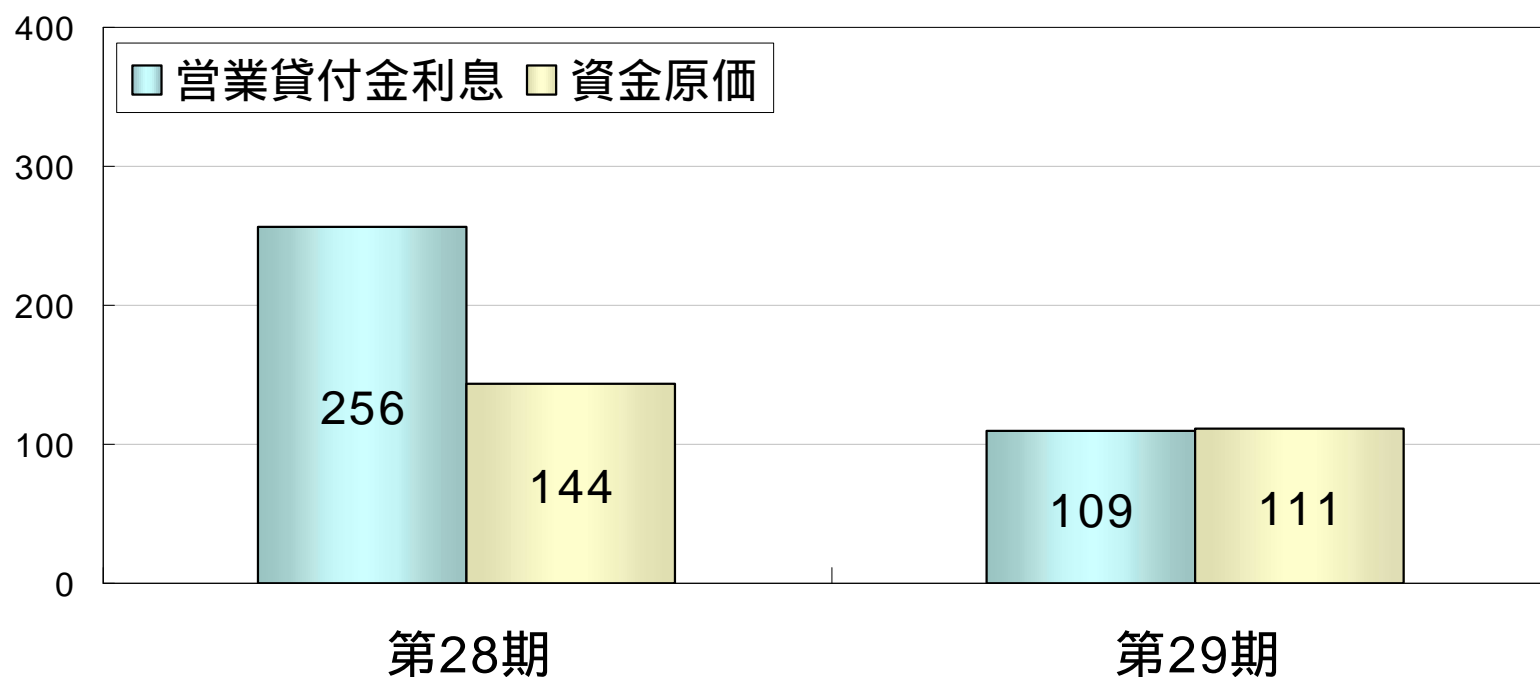
第28期末
1,651百万円



第29期末
758百万円

【営業貸付金による収益】

単位：百万円



3.経営成績 連結貸借対照表

単位：百万円

資産の部	
流動資産	54,747
固定資産	4,461
有形固定資産	499
無形固定資産	123
投資その他の資産	3,838
資産合計	59,208

負債及び純資産の部	
流動負債	2,533
固定負債	41,732
負債計	44,266
株主資本	8,996
評価・換算差額等	3,817
少数株主持分	9,763
純資産合計	14,942
負債純資産合計	59,208

3.経営成績 連結損益計算書

単位：百万円

経常損益の部	営業損益の部	営業収益	8,474
		営業原価	16,640
		営業総損失	8,166
		販売費及び一般管理費	3,544
		営業損失	11,710
	営業外損益の部	営業外収益	228
		営業外費用	1,197
	経常損失		12,679
	特別損益の部	特別利益	1,369
		特別損失	1,606
税金等調整前当期純損失		12,898	
当期純損失		10,889	

3.経営成績 連結株主資本等変動計算書

	株主 資本	評価・ 換算差額等	少数 株主持分	純資産 合計
第28期末 残高	19,885	6,103	11,421	25,204
事業年度中 の変動額	10,889	2,286	1,658	10,261
第29期末 残高	8,996	3,817	9,763	14,942

単位：百万円

< 株主資本の主な変動内容 >

- 欠損填補のため、資本剰余金を23,471百万円減少し、利益剰余金に充当
- 当期純損失の計上により、利益剰余金が、10,889百万円減少

3.経営成績

■連結注記表

招集ご通知 2 5 ページ ~ 3 6 ページ

■貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表

招集ご通知 3 7 ページ ~ 4 5 ページ

4. 対処すべき課題(中長期戦略)

ファンドマネジメント会社への転換

アジアでの競争力強化

バランスの良いポートフォリオ構築

4. 対処すべき課題(当社グループの対処すべき課題)

投資先企業への支援活動推進

採算管理の強化による業務の効率化及び
間接コストの更なる圧縮

金融債務の着実な圧縮と資金効率の向上

ファンド組成

人材育成

